

「市長インタビュー」

Q. 市制施行60周年から

未来へ。

多久市の抱負を
教えてください。

A. 多久市では、「教育元年」として平成25年度より市内全域における小中一貫教育をスタートいたしました。また、平成26年4月からは高校生まで医療費の助成を行っていきます。これからは、単にICTを導入するというだけでなく、子どもたちの育ちを支え、世界を視野に日本の教育も変わっていくかなばなりません。先進国の事例も参考にしながら、日本に誇る「文教の里 多久市」を切り拓いていきたいと思っています。

また、「長寿」と「健康」と「幸福」は重要なテーマです。適切な医療、自己管理が長寿社会を笑顔で穏やかにしてくれるはず。いつまでも健康で元気に暮らせる都市を目指していきたいと思っています。

マスタープランでは、「緑園に輝く」みんなで創る文教・安心・交流のまち「多久」を将来像に掲げました。輝くまちは「人」が基本。地域の輝きも一人ひとりの笑顔によって、小さくてもキラリと光る、オンリーワンのまちが創られていきます。子どもから年配の方まで多久市で暮らす全ての方に、ご自身の人生を楽しんでいただきたいと思っています。



古くからの

文教の地である多久市は

教育・健康長寿を主軸に

佐賀の県央として

光を放ち続けます。

多久市長 横尾俊彦



PROFILE

多久市長

横尾 俊彦 [よこお としひこ]

佐賀県多久市出身。松下政経塾の第1期生。5期連続で多久市長を務める。趣味は読書、音楽、映画鑑賞。学生時代からのバスケットマン。座右の銘は「天命を信じて人事をつくす」。

 Facebookにて配信

Q. 全国のみなさんへ、
キラリ光る
多久市の強みを
教えてください。

A. キラリと光る魅力は、たくさんありますが、特に緑のあるゆとり環境は、生きていくうえでとても重要だと考えています。多久市はわざわざ出かけずとも住宅街でホテルに出会えたり、川辺でメダカに触れることのできる「緑園」のまちです。そして、子育て支援にも力を入れていきます。どうぞお越しいただき、この美しい空気を体感してください。そして、これからの豊かなライフステージとして多久市を選んでいただければ光栄に思います。



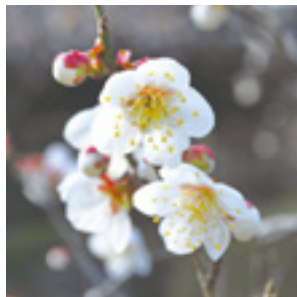
市章

漢字で「多久」を表記し、市の大同団結と躍進を象徴したもので、昭和29(1954)年11月に決定しました。



市旗

市の力強く発展する姿を象徴する市のかえでと、市の花うめを図案化したもので、昭和49(1974)年5月に定められました。



市の花「うめ」

自然の美しい多久市を象徴するうめは、市制施行20周年を記念して市の花に制定されました。



市の木「かえで」

初夏には新緑の葉がまぶしく、秋になると紅葉をはじめるかえでは、市の花うめとともに市制施行20周年を記念して、市の木に制定されました。



多久市は佐賀県のほぼ中央部に位置し、四方を山に囲まれた盆地で、東と北は小城市小城市町、佐賀市富士町、西と北は唐津市厳木町、相知町、南は、小城市牛津町、杵島郡江北町、大町町、西南は武雄市と接しています。
長崎自動車道多久インターチェンジ、国道203号、JR唐津線を擁し、海へも空へもアクセス良好のまちです。

多久市の概要



多久市へのアクセス

航空機利用

佐賀空港から32km(車で45分)
福岡空港から64km(高速道路利用50分)
長崎空港から55km(高速道路利用45分)

JR利用

博多駅～佐賀駅…………… 特急40分
(JR長崎・佐世保線)
佐賀駅～多久駅…………… 30分
(JR唐津線)

高速道路利用

鳥栖JC～多久IC …… 30分(長崎自動車道)



佐賀県には、佐賀市のバルーンフェスタや唐津市の唐津くんち、神埼市・吉野ヶ里町の吉野ヶ里遺跡、有田町の陶器市など、見どころが豊富です。そして、多久市にも多久聖廟をはじめとする歴史的遺産や観光名所など数多くあります。

多久市のある佐賀県

多久市歳時記

12月	11月	10月	9月	8月	7月	4月	3月	1月
多久聖廟お火たき ふいご祭	西多久ふれあいまつり 多久まつり 多久聖廟秋季萩菜孔子祭 佐賀県技能まつり・産技祭 孔子の里「紅葉まつり」 論語カルタ大会	別府・区面浮立 両子神社祭 天山祈念碑祭	七郎神社祇園祭 八幡神社秋季例祭	岸川盆綱引き(隔年開催) 多久山笠	諸田賢順を偲ぶ会 砂原二十三夜祭	高野神社春まつり 多久聖廟春季萩菜	孔子の里「桜まつり」 多久聖廟春季萩菜	多久聖廟初詣 七草粥会・女山大根まつり もぐら打ち

